

- ◆つり技術を高め、より楽しいつりを
- ◆つりマナーを守り、より気持ちの良いつりを
- ◆自然環境を大切に、いつまでも楽しいつりができるように
- ◆仲間と共に楽しむために

上田労働釣

「上田勤労者つりの会」会報

<http://uedaroutyou.jimdo.com/>

発行責任者 渡部 昭和

連絡先 〒386-0155

上田市蒼久保1056-16

TEL 0268-35-0783 (fax兼)

発行日 2013年6月15日

63号

加藤恵司さんから釣竿届く

東京労働釣連有志のキャンプで

がイジメなどにもつながっているのではないのでしょうか。平たく言えば「釣りどころではない」というのが今の子ども達の置かれている状況なのでしょう。

ですから、参加してくれる子ども達に、そして親の皆さんに本当に感謝なのです。

五月晴れの下でフナ釣り大会

普段の行いが功を奏して五月十二日はサツキ晴れ。

参加者二十二名。子ども達は少なかつたがそれでも三名。池の事実上の管理者である勅使川原さんによると「いやになるほど連れる」という情報。

加藤さんからいただいた竿が活躍しそう。

長老の島田さんは「お持ち帰り用グッズ」もしっかりと用意し、万全の態勢で、イザ。

今回参加の子ども達は、「子ども」と言えば「睨まれそうな年代だが、つりはどうも全くの初心者らしい。竿の扱いもどこと



登校拒否になった孫を連れてきてくれたということもありました。私の孫も流し釣り大会に参加したのがきっかけで釣り好きとなり、おかげで爺様の財布はしばしば思いの外軽くなっています。

これからは加藤さんはじめ多くの皆さんのお気持ちに応えられるよう、細々ですが活動を進めていきたいと思えます。重ねて東京労働釣連の皆様のご厚意に感謝します。

習うより慣れろ、だろう。今回もバンバンさんにはお世話になった。ゴージャスな景品がずらり。

加藤さんとは違った視点で、子ども達への景品の協力をしてくれているのだらうと思うが、前略・後略で考えれば、若い世代に釣り文化が継承されていくことは素晴らしいこと、という事で一致する。

これからも協力関係を発展させたいと思う。

予想通りフナはいっぱい釣れ、島田さんが用意したケースでは足りなくなつて、一回り大きい箱に。それでもいっぱい。酸素を供給する固形物があるが、大丈夫かと心配になる。八千穂では、いましばらくすると、フナの甘露煮でコップを傾ける人が増えそうです。

新年会しました

二月十日、解禁直前の日曜日に新年会をしました。

ビール、酒、焼酎をたっぷりといいただき、解禁に向けてのエネルギーをもらった新年会でしたが、会話は昔話。

渡部会長は同級生の誘いでその家の馬に乗って登校。気分は素晴らしかったようですが、帰ったらその家の親父さんにさんざんに叱られ、同級生共々校の木に縛り付けられたそうです。近所のリンゴを盗んで食べたり、遊びに出かけるときは味噌だけ持って途

中の畑でトマトやキュウリ、ナスを盗んで食べたり、昔の子どもは何という事をしていったのでしょうか。今そんなことをしたら大変なことになります。昔の方が良かったですかね。

釣りと言えば、北海道釣りの旅と青森から南下しながらの釣りの旅、二つの企画があったのですが、さてどうなるのでしょうか。企画案は兎に角作ることになりました。

今年はテンカラをやるのか、会員を増やそうとか、毛バリの話とか、まじめな話も尽きず、いつの間にかお迎えがやってくる時間になりました。この次は更にたくさん集まって楽しくやりましょう。



新年会の料理と焼酎

4日目(20日)計画では、この日は知床への移動日だったが、途中の斜里川でも竿を出してみることにした。毎年9月の釣行時は竿を出す川だが、今年は魚の活性がよい7月の釣行と違うこともあって、予定を変更して寄り道。

この日も寒く、水温が低いせいか20cm位のオシロコマと小ヤマメばかり。

名児耶さんは大物を掛けたようだが、バラシてしまったようだ。残念ながら今年も斜里川で、大物に出会うことが無かった。

あきらめて一路知床峠を霧に悩ませられながら越え羅臼に向かう。今日の宿泊は羅臼のお馴染みの民宿「おじろや」一段と太めになった女将さんが迎えてくれた。

5日目(21日)朝食前にサシル川でオシロコマを釣る。吐息が白く見えるほど今朝も寒い。予報によると今日の最高気温は13℃。

昨年ほどの大物は少なかったが、3人とも30〜40尾ほどの釣果だった。朝食後、昨年の後半組みの皆さんが初挑戦したと言う、ルサ川へ名児耶さんの案内で向かう。

私も山下さんも始めての川で、昨年の釣果を聞いていた

2012年北海道釣行記 その2

だけに期待していた川だ。この川のオシロコマはとにかくデカイ。25cm〜28cmは数回流して餌にも毛鉤にも小型だがオシロコマが釣れた。「これだけの川に魚がいな

渡部 昭和

1時間半くらいで、良形が揃ったせいかな全員ビクを一杯にして一休み。早めの昼食をとり、午後2時半までで20〜30尾ほど釣り、ケンネベツ川へ移動することにしました。

毎年一番多く釣る川だが、川荒れがひどく15尾位を釣ったが、1時間ほどで引き上げることになった。

6日目(22日)今日も朝食前にサシル川で釣り。寒さが最も厳しい朝だった。今日は今まで一度も行ったことの無い新しい川を探しながらの釣行とした。

右手に根室海峡を見ながら、海岸沿いを北上する。小さな川でも車を止め、様子を見ることの繰り返し。民宿を出て6百程だったろうか、比較的大きな川を発見し、水量もサシル川にひけをとらない。

名児耶さんもこの川では竿を出したことが無いとのこと。名児耶さんは餌釣りで、山下

さんはフライで、早速試し釣りをしてみたが、反応が悪く、この川は魚がいらないのでは? 数回流して餌にも毛鉤にも小型だがオシロコマが釣れた。「これだけの川に魚がいな

名児耶さんは餌釣り、山下さんはフライ、私はテンカラ釣りと夫々得意分野での釣り開始。餌釣りの名児耶さんは順調に大物のオシロコマをゲットしているが、テンカラの毛鉤には数は出ても大物が釣れない。寒さと水温の低さが影響しているのかも知れない。そこで、持ち合わせの餌釣り仕掛けに替え、名児耶さんからイクラを分けてもらい、餌釣りに変更した。

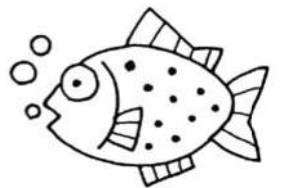
下流部の橋下まで下ると、大きな溜まりが有り大物の気配が伝わってくる。ここではまさに入食いで大物が釣れた。お昼前に夫々がビクを一杯にして、民宿の女将さんが作ってくれた、1つでも食べ切れない大きなオムスビで昼休み。午後も夫々満足の釣果を上げ、少し早めの納竿とした。

帰り際にこの川の名前を確認した。「オツカバケ川」と橋げたに記されていた。来年もケンネベツ川に勝るこの川で是非竿を出したいものです。



「流し釣り大会」やるよ!!!

日時 8月4日(日) 10:00~14:00頃
場所 依田川三角地域
参加費 大人1000円 子ども無料



流し釣りでウグイ・オイカワ・ヤマメを狙う・・・釣れる時もあれば釣れない時もある

釣った魚を唐揚げにして食う・・・数が心配だから先に釣っておくという涙ぐましい努力がある

川遊びをする・・・浮き輪など安全のための用具は準備してください。財政が厳しい当会では準備できないのです。

今年も東京と交流会

6月29日〜30日

恒例となった東京釣連との交流会が今年も行われます。詳しい日程や宿泊場所などはこれからです。毎年愉快的仲間たちと釣りを楽しみ、大いに酒を楽しみ、楽しい話に時間を忘れてしまいます。

是非たくさんの方の仲間の皆さんに参加してほしいと思います。かいのやりくりをお願いします。また、場合によっては、釣り場への案内や山菜採りの案内など必要かもしれないので、ご準備ください。東京の皆さんからは学ぶこともたくさんあります。特に初心者の方々は、ぜひ参加して、様々な釣りの話に参加してみてください。

新会員紹介

- 長野市青木島大塚1257-7 廣瀬 勉 さん
- 長野市みこと川1ノ3 みこと川団地Aノ10ノ117 松林 弘行 さん
- 千曲市内川472 小林 照喜 さん
- 上田市長瀬 中村 猛 さん

ぜひ釣行の際には誘ってください。

釣談議

解禁になって早くも四カ月近くになる。テンカラには誠に良い季節となっているが、今年はどういうわけかまだまともに行けていない。安倍と橋下のおかげだと思っている。全くいい迷惑だ。あんな連中のおかげで、国民の極めて健康的な釣り文化を楽しむ時間が奪われるなんて許せない。

「気を付けて」と声をかけて帰ったが、その夜の夜、「23cmを頭に5尾釣った」と電

福島の溪流だつて釣りはできても食べられないところが多いのではな

腰の調子が良くないとか言っていたはずだが、沢に下るためにロープの用意もしてあるとか。元気がというよりその根性には頭が下がる。安倍や橋下なんかは時間をとられないように頑張らなくては。